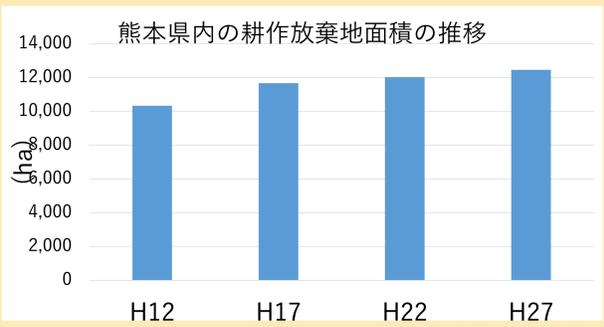


viva!耕作穂浮季地～耕作放棄されない地～

課題

- ・耕作放棄地の増加
- ・農業就業人口の減少・高齢化



(出典) 農林業センサス



耕作放棄地とは？

過去1年以上の間、作物の栽培が行われておらず、今後も耕作に使われない農地

耕作放棄地の問題点

- ・雑草や害虫の増加
- ・食糧自給率への影響
- ・ゴミの不法投棄
- ・農地の持つ多面的機能の喪失
- ・土地としての実質的な価値の低下 等



田んぼアートツーリズム

現在田んぼアートが行われている地域と連携し、一地域にとどまらない、熊本県全体のイベントとする



(出典) 田舎館村HP

「穂」

田んぼアートの作成

耕作放棄地を田んぼアートとして利活用

民泊

既存の仮設住宅を再利用して、観光客や農業体験、新規農家への宿泊施設とする
→低コスト・早期実現・観光収入

運営

最初：学生＋熊本県が主体で行う
→地元農家、小中学生へ主体を移していく

近隣の土地で、周辺の田んぼや畑で収穫された農作物を販売したり、農業体験の申込みができるブースを設けた簡易的な施設を整備する

→来訪者には、休憩所や新鮮な農作物を提供できる農家にとっても利益を確保できるメリットがある



耕作放棄地の減少
農業就業人口の増加
観光客増加
コミュニティの形成

「浮」

気球に乗れるイベントを開催

自分の地元を上空から眺められるので、地元住民とっても地域のいいところを再確認できて楽しめるイベント

「季」

花を植える

季節にあった花を学生や地元住民と一緒に植える

花畑をみせる

花畑を新たな観光スポットとしてアピールする



期待される効果

・耕作放棄地の減少

田んぼアートを作成することで耕作放棄地を有効活用！

・農業就業人口の増加

田んぼアートをみた人が農業に興味をもてば、農業就業人口の増加の可能性も！

・観光客増加

イベントを通して、観光客の増加が見込まれる。田んぼアートツーリズムによって、県全体での効果が期待！応急仮設住宅を再利用した民泊で更なる観光収入も！

・コミュニティの形成

田んぼアートや花畑の作成を年代で協働すれば、新しいコミュニティの形成につながる！